

養徳だより

平成26年11月4日
京都市立養徳小学校
校長 濱島 后江

◇平成26年度 第1回目の学校評価アンケートの結果より

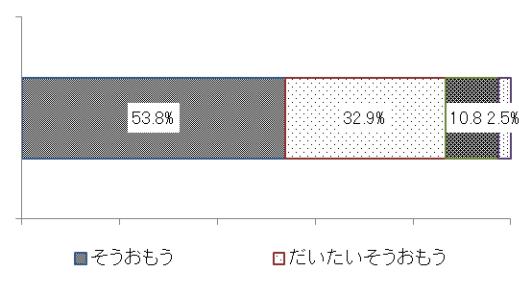
保護者の皆様には学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。子どもたちにも日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の教育活動や家庭との連携について振り返り、実現度をはかる自己評価を実施しました。私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、日頃の教育活動を見直すきっかけになるとともに、保護者や地域の皆様と共によりよい養徳教育のあり方を探っていきたいと考えています。

また、学校運営協議会で話し合い、考察としてまとめましたのでお知らせします。

学校アンケート集計結果

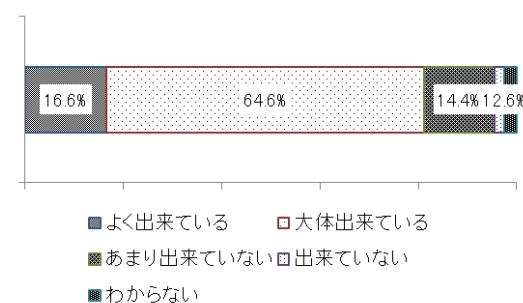
【児童】

べんきょうは よくわかる。



【保護者】

子どもは、学習内容を理解している。



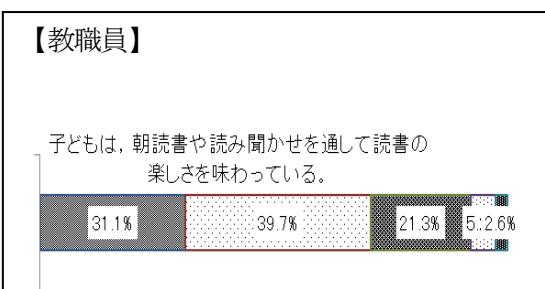
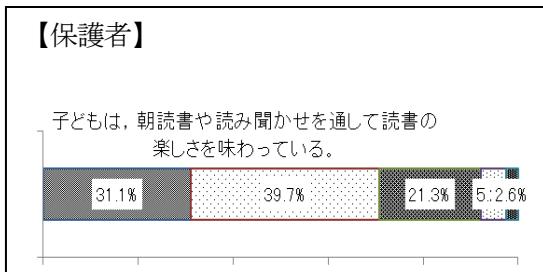
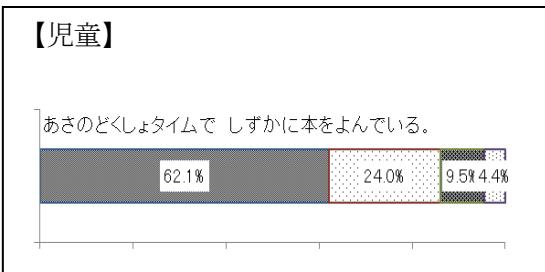
【教職員】

めあてをはっきりさせて授業をすること



前回より「勉強はよくわかる」児童5ポイント・「学習内容を理解している」保護者17ポイント上がりました。これは計算や漢字の繰り返し学習や家庭学習が定着してきていることと深く関係しています。

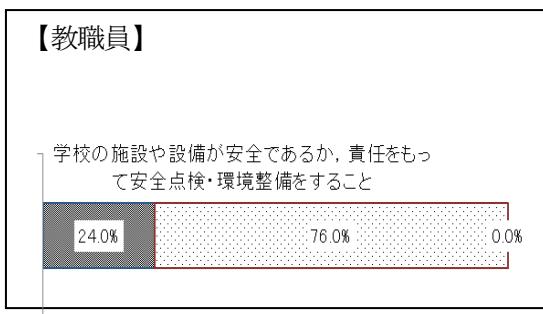
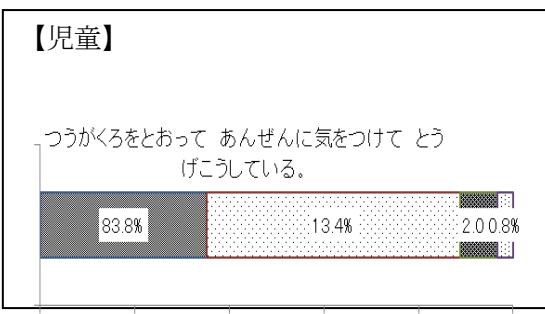
また、教職員もめあてをはっきりさせた授業や板書・ノート指導・掲示物の工夫を行ってきた成果の表れであると考えます。



「朝の読書」の項目で子どもたちの読書好きがポイントとなって表れています。

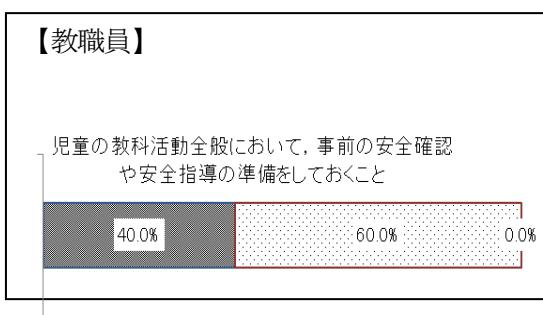
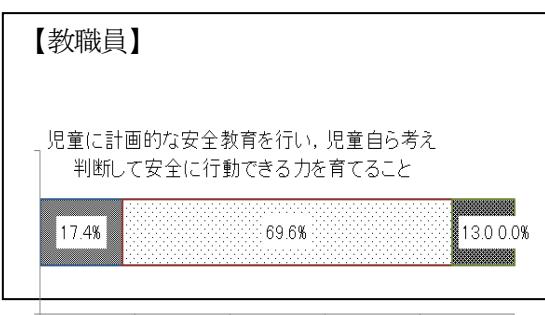
図書室もリニューアルし、さらに読書好きになるように取組を進めていきたいと思います。

～～安全教育の推進～～



文科省のセーフスクールの指定を受けて2年目。緊急地震速報装置を使っての避難訓練を年間7回行っています。また、教職員の実地安全研修の取組も学習に反映させてきました。

学校での安全教育を受けて、安全を意識する児童が増えてきました。これからも「命を大切にする子・命を守る子」の育成に力を注いでいきたいと思います。



《学校運営協議会でのご意見》

アンケート結果をもとに学校運営協議会で委員の皆様からご意見をいただきました。

○挨拶について…先生方が挨拶をしてくれる。子どももその様子を見ていて、挨拶をするものだと感じている。まず、大人が見本を示していくことが大事である。自分から元気に挨拶ができる子になってほしい。

○自宅でも地震を感じて身を守る行動がとれるようになった。ホームページでも安全研修をアップされていて、子どもを安心して学校に送り出せる。

○授業参観を楽しんでいる親もいる。子どもたちにとってはいいことだと思う。